

公開シンポジウム

地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化 ーシチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組みー (青森県)

主催：日本学術会議若手アカデミー 共催：弘前大学COI研究推進機構

後援：国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター

日時：平成30年12月1日(土)13:30～16:30

場所：弘前大学本町キャンパス健康未来イノベーションセンター

開催趣旨：

本シンポジウムでは、地方創生の一環として、新たな研究スタイルであるシチズンサイエンスを通じて地方が包含する課題の解決が可能かを検討することを狙った。また、市民の参画が容易な領域を中心とした科学の啓発活動及びサポート体制を構築し、若手アカデミーが持つ学術横断的な視座でその課題を見つめることで、地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化を軸とした地方創生が可能かを議論した。

総合司会：高瀬堅吉

(日本学術会議連携会員、若手アカデミー幹事、自治医科大学医学研究科教授)

【基調講演】

「オープンな情報流通によって変容するシチズンサイエンスの可能性」

林 和弘(文部科学省科学技術・学術政策研究上席研究官)

「シチズンサイエンスは学術研究をどう変えるか」

中村 征樹(日本学術会議連携会員、若手アカデミー会員、
大阪大学全学教育推進機構准教授)

【話題提供】

地方が抱える課題を解決するシチズンサイエンスの可能性

ー青森県での健康教育促進を通じた短命県返上への取り組みー

「地域課題解決を通じて新産業創出をめざす弘前大学COIの基本戦略」

村下公一(弘前大学COI研究推進機構教授、弘前大学COI副拠点長(戦略統括))

「市民と課題に向きあう、健康リーダー育成」

沢田かほり(弘前大学医学研究科助教)

「市民と共に創るー地域食材の良さを生かした食品開発ー」

前多隼人(弘前大学農学生命科学部准教授)



岸村代表の開催挨拶の後、シチズンサイエンスの背景、現状、今後の展開等、林先生と中村会員の基調講演が行われました。



青森県における、シチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組みについて村下先生、沢田先生、前多先生の講演が行われました。



会場から出された意見・質問をもとに、今後の可能性について活発な議論が行われました。

新福副代表の閉会挨拶。
内容を踏まえた非常に内容の濃いものでした。



サイエンスカフェ 「シチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組み」



平成30年12月1日(土)

16:30~18:00

ゲスト：高瀬堅吉

コーディネーター：中村征樹

シンポジウム終了後、サイエンスカフェ
「シチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組み」を開催しました。

日本にけるサイエンスカフェの始祖・中村
会員からサイエンスカフェの説明をいただ
いたあと、シンポジウムの内容も踏まえ、
学生を含む参加者と、お茶を飲みながら科
学との関わり方や科学の可能性など、ざっ
くばらんに語りあいました。今後のシチズ
ンサイエンスの展開に向けて様々なヒント
を得ることができました。

